

三浦周行博士関係資料抄（五訂稿）

（令和 6（2024）年 1 月 11 日（木）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）	1
【参考 HP】	2
【関連 HP】	5
はじめに	7
1 三浦周行博士略年譜その他	7
2 三浦周行博士関係文献抄	9

（補正経緯）

- HP 初載：・令和 4（2022）年 9 月 23 日（金）初 稿作成
・令和 4（2022）年 9 月 28 日（水）改訂稿作成
（全体にわたり補正、追加）
・令和 5（2023）年 1 月 3 日（火）再訂稿作成
（全体にわたり補正、追加）
・令和 5（2023）年 5 月 23 日（火）三訂稿作成
（全体にわたり補正、追加（「西田直二郎日記（1）～（3）」等））
・令和 5（2023）年 7 月 17 日（月）四訂稿作成
（全体にわたり補正、追加（新田一郎先生『法の思想と歴史』第 3 号、北
康宏先生『中田薫』（人物叢書、吉川弘文館）等））
・令和 6（2024）年 1 月 11 日（木）五訂稿作成
（全体にわたり補正、追加）

【参考 HP】（令和 6（2024）年 1 月 11 日一部補正）

* 法制史学会 HP（平成 14（2002）年 10 月 5 日公開、平成 24（2012）年 4 月 1 日移転）

〈<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jalha/toppage.htm>〉 ⇒

（新）〈<https://www.jalha.org/>〉

・ 〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8A%E5%B1%B1%E5%AE%89%E6%95%8F>〉

* 全体 HP

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/>〉

・ 「日本のローマ法」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Romanist2003.htm>〉

・ 「法制史学者著作目録選（WEB 版）」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

・ 「「法制史コーナー」 所載項目一覧」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ichiran002.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：宮崎道三郎博士略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/miyazaki001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：池辺義象氏著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ikebe001.pdf>〉

・ 本 HP 本稿：三浦周行博士関係資料抄（令和 4（2022）年 9 月 28 日追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/miura001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：中田薫博士関係資料抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakata001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：牧健二博士関係資料抄（令和 5（2023）年 1 月 3 日追加）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/makikenji001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：内藤吉之助教授略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/naito001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：瀧川政次郎博士関係資料抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takikawa001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：金田平一郎博士略年譜・著作目録

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kaneda001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：小早川欣吾先生略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa001.pdf>〉

・ 本 HP 別稿：「小早川欣吾先生記念メダルによせて

—小田輝子氏「叔父小早川欣吾の思い出」とともに—

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/odateruko.pdf>〉

- ・本 HP 別稿: 『小早川欣吾先生東洋法制史論集』収録論稿目次その他」
 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa_toyohoseishi.pdf>
- ・本 HP 別稿: 牧英正博士著作目録等抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/maki001.pdf>>
- ・本 HP 別稿: 小林宏先生著作目録等抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashi001.pdf>>
- ・本HP別稿: 千賀鶴太郎博士著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/senga001.pdf>>
- ・本HP別稿: 戸水寛人博士著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tomizu001.pdf>>
- ・本HP別稿: 春木一郎博士略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/haruki001.pdf>>
- ・本HP別稿: 原田慶吉教授略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/harada2003.htm>>
- ・本HP別稿: 船田享二博士略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/funada2003b.htm>>
- ・本HP別稿: 田中周友博士略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanaka2003b.htm>>
- ・本HP別稿: 栗生武夫先生略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu001.pdf>>
- ・本 HP 別稿: 「栗生武夫先生『婚姻法の近代化』の中訳本について」
 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_chuhon.pdf>
- ・本 HP 別稿: 「『栗生武夫先生随筆拾遺』作成の思い出
 ー『栗生武夫先生随筆拾遺ー栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯』ー」
 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui.pdf>
- ・本 HP 別稿: PDF 版『栗生武夫先生随筆拾遺ー栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯
 ー』
 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui_002.pdf>
- ・本HP別稿: 西本穎博士著作目録等抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimoto001.pdf>>
- ・本HP別稿: 久保正幡博士著作目録等抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kubo001.pdf>>
- ・本HP別稿: 井上周三教授関係資料抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/inoue001.pdf>>
- ・本HP別稿: 上山安敏先生著作目録等抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueyama001.pdf>>

- ・本HP別稿：笥克彦博士略年譜・著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf>〉
- ・本HP別稿：近藤英吉博士略年譜・著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kondo001.pdf>〉
- ・本HP別稿：増田福太郎博士関係資料一斑
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/masuda001.pdf>〉
- ・本HP別稿：山崎丹照先生著作目録
 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yamazaki001.pdf>〉
- ・本HP別稿：戴炎輝博士略年譜・著作目録
 〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Tai_Yen-hui001.pdf〉

* 和田徹氏HP「私立玉川用賀村中央図書館（新館）」（令和5（2023）年12月31日閉館）

- 〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/>〉
 - ・春木一郎電子文庫（和田徹氏寄贈図書）
 〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/haruki.htm>〉
 - ・原田慶吉電子文庫（和田徹氏寄贈図書）
 〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/harada.htm>〉
 - ・栗生武夫電子文庫（和田徹氏寄贈図書）
 〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/kuryu.htm>〉
 - ・いろいろ電子文庫
 〈<http://home.q02.itscom.net/tosyokan/iroiro.htm>〉
 - ・PD 図書室（「梅雨空文庫」のデータを整理してまとめたもの）
 〈<http://books.salterrae.net/about/tuyuzora.html>〉
- （註）早くには「船田享二電子文庫」の平成22（2010）年開設予告もなされていた（平成14（2002）年12月14日初出か?）が、その後平成18（2006）年6月3日に「2006/06/03 船田享二電子文庫計画中止」の表示が出た。

* 「西村稔先生（1947～2019）年譜・著作目録（阪本尚文編）（初版）（2020（令和2）年4月現在）」⇒爾後逐次改訂⇒（最新版：令和5（2023）年11月現在第8稿掲載）

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimura001.pdf>〉

（註）本著作目録は、阪本尚文編『Aún aprendo それでもまだ学ぶぞ——西村稔先生追悼集』（私家版、2020（令和2）年2月28日刊（福島大学学術機関情報リポジトリ所収〈<http://hdl.handle.net/10270/5154>〉）に収録した「西村稔先生年譜・著作目録」に逐次修正を加えつつあるものである。

【関連 HP】（令和 5（2023）年 1 月 3 日差替え同 6（2024）年 1 月 11 日一部修正）

- ・法制史学会: <<https://www.jalha.org/>>
- ・国立国会図書館: <<https://www.ndl.go.jp/>>
- ・国立国会図書館デジタルコレクション <<https://dl.ndl.go.jp/>>
(下記: 令和 4（2022）年 12 月 12 日追加)
<https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2022/221202_01.html>
「ホーム>新着情報>ニュース> 「国立国会図書館デジタルコレクション」をリニューアルします（令和 4 年 12 月 21 日）
「2022 年 12 月 2 日「国立国会図書館デジタルコレクション」をリニューアルします（令和 4 年 12 月 21 日）」
国立国会図書館は、令和 4 年 12 月 21 日に、[国立国会図書館デジタルコレクション](https://dl.ndl.go.jp/)をリニューアルします。リニューアルにより、全文検索可能なデジタル化資料が増加するとともに、閲覧画面が改善されます。詳しくはプレスリリースをご覧ください。」
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和 4（2022）年 5 月 19 日開始）
<https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html>
- ・（下記: 令和 6（2024）年 1 月 11 日追加）
「2024 年 1 月 5 日 新「国立国会図書館サーチ」を公開しました」⇒
「国立国会図書館は、従来のウェブサービス「国立国会図書館検索・申込オンラインサービス（国立国会図書館オンライン）」及び「国立国会図書館サーチ」を統合・リニューアルし、令和 6 年 1 月 5 日（金）から、新「国立国会図書館サーチ」としてサービスを開始しました。」
<https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2023/240105_01.html>
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー
<<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>>
- ・CiNii: <<https://ci.nii.ac.jp/>> ⇒ <<https://cir.nii.ac.jp/>> (【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について)、<<https://ci.nii.ac.jp/books/>>
- ・朝日新聞クロスサーチ（令和 4（2022）年春「聞蔵Ⅱビジュアル」を全面リニューアル）
<<http://www.asahi.com/information/db/2for1.html>>
- ・ヨミダス歴史館
<<https://database.yomiuri.co.jp/about/rekishikan/>>
- ・毎索（マイサク）
<<http://xn--https-ft8kv51h//mainichi.jp/contents/edu/maisaku/>>

- ・雑誌記事索引集成データベース「ざっさくプラス」(令和5(2023)年5月23日追加)

〈<http://info.zassaku-plus.com/>〉

〈https://zassaku-plus.com/service/login?return_url=https%3A%2F%2Fzassaku-plus.com%2F〉

はじめに

三浦周行博士（ひろゆき、1871～1931）関係資料については、もとより膨大なものがあるが、本稿は、今般別の所用に関連して急遽作成した断片資料にすぎない。コロナ禍等現時諸般の事情で原本未確認のものが多いことをお断りするとともに、今後逐次補訂できればと願う。往時森鹿三先生（1906～1980）「東洋法史」の御講筵に列した際「恩師三浦周行先生は ……」とのお話をしばしば拝聴できたことを、今改めて有難く思い出す次第である。
(令和 4 (2022) 年 9 月 23 日謹誌)

1 三浦周行博士略年譜その他

* ウィキペディア（三浦周行: 1871～1931）

〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%89%E6%B5%A6%E5%91%A8%E8%A1%8C>〉

* 『人事興信録』データベース 〈<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/search/about>〉

（平成 4 (2021) 年 4 月 21 日『人事興信録』の初版（1903（明治 36）年版）のデータベースを公開、〈<https://current.ndl.go.jp/car/43855>〉）（令和 5 (2023) 年 5 月 23 日追加）

・ 三浦周行

初版（明治 36（1903）年?月）：記載なし。

第 4 版（大正 4（1915）年 1 月）

〈<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who4-12089>〉

第 8 版（昭和 3（1928）年 7 月）

〈<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who8-21164>〉

・ 勝田勝興（1886～1976、母は三浦周行姉、勝田勝年（1904～1988）は実弟）

第 8 版 〈<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who8-6103>〉

（参考）「松江市の新収蔵資料紹介（1）勝田孝興関係文書」（調査コラム～史料調査の現場から 第 20 回）

〈https://www1.city.matsue.shimane.jp/bunka/matsueshishi/chosa_colmn_bn.data/chosa_colmn20.pdf〉

* 京都大学 〈<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja>〉 データベース（令和 6 (2024) 年 1 月 8 日追加）

・ 京都大学大学文書館 〈<http://kua1.archives.kyoto-u.ac.jp/ja/>〉

・ 京都大学大学文書館「教員履歴データベース（京都大学歴代総長・教授・助教授履歴検索システムー対象: 1949 年以前の在職者 [旧制] ー）」参照。

〈<https://kensaku.kua1.archives.kyoto-u.ac.jp/rireki/>〉

「三浦周行」

〈<https://kensaku.kual.archives.kyoto-u.ac.jp/rireki/?c=detail&id=000889>〉

(更新日: 2016/8/31、システム管理番号 000889)

* 三浦周行博士墓所

〈<https://www.yomiuri.co.jp/local/shimane/news/20220405-OYTNT50098/>〉

〈<https://sotozen-shima2.jp/jiin/%E6%B3%95%E7%9C%BC%E5%AF%BA%EF%BC%88%E3%81%BB%E3%81%86%E3%81%92%E3%82%93%E3%81%98%EF%BC%89/>〉

* 三浦周行博士主要著作

・『法制史の研究』(岩波書店、大正 8 (1919) 年刊)

・『続法制史の研究』(岩波書店、大正 14 (1925) 年刊)

・『日本史の研究』(岩波書店、第一輯: 大正 11 (1922) 年刊、第二輯: 昭和 5 (1930) 年刊、戦後昭和 56 (1981) ~57 (1982) 年林屋辰三郎氏らの編で改訂版(第一輯及び第二輯を各 2 分冊にし、更に新輯 3 冊を加えて全 7 冊) 刊行)

・国立国会図書館検索 〈<https://www.ndl.go.jp/>〉

・CiNii 検索 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉

2 三浦周行博士関係文献抄

昭和 6 (1931) 年

- ・西田直二郎 (1886~1964)、藤直幹 (1903~1965) 「彙報 本会評議員三浦周行博士訃」『史林』第 16 卷第 4 号 (史学研究会、昭和 6 (1931) 年刊) 168~175 頁。
- ・(署名なし) 「三浦周行先生略歴」『歴史と地理 (史学地理学同攷会編)』第 28 卷第 4 号 (星野書店、昭和 6 (1931) 年刊) 301~302 頁。
- ・牧健二 (1892~1889) 「評議員三浦周行博士逝く」『社会経済史学』第 1 卷第 3 号 (昭和 6 (1931) 年 10 月 15 日刊) 677~678 頁

昭和 13 (1938) 年

- ・山根徳太郎 (1899~1973) 「解題」(三浦周行 (1871~1931) 『国史上の社会問題—日本文化名著選』(創元社、昭和 13 年 12 月 25 日刊) (令和 2 年 5 月 23 日追加)
<<https://dl.ndl.go.jp/>>、<<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1218464>>

昭和 18 (1943) 年

- ・『京都帝国大学史』(京都帝国大学、昭和 18 年 12 月 20 日刊) 678~694 頁
<<https://dl.ndl.go.jp/pid/1460809/1/1>> (令和 5 (2023) 年 1 月 3 日追加)

昭和 37 (1962) 年

- ・中村直勝 (1890~1976) 『歴史の発見 古文書の魅力』(人物往来社、昭和 37 (1962) 年 11 月 3 日刊) (三浦周行博士への言及個所多し。) (令和 5 (2023) 年 7 月 17 日追加)

昭和 43 (1968) 年

- ・勝田勝年 (1904~1988) 「明治以後における日本史学の発達—三浦周行博士の業績を中心にして— KAKEN 勝田勝年 研究代表者 研究課題情報 研究課題/領域番号 X43220-----1125 研究種目 奨励研究 (B) 配分区分 補助金 研究期間 (年度) 1968~1968 研究課題ステータス 完了 配分額*注記 50,000 円 (直接経費: 50,000 円) 助成事業 科学研究費助成事業
<<https://cir.nii.ac.jp/crid/1040282257393772288>>

昭和 49 (1974) 年

- 勝田勝年 (1904~1988) 「明治・大正期の日本史学の発達—三浦周行博士の場合—KAKEN 勝田勝年 研究代表者 研究課題情報 研究課題/領域番号 X00220----990426 研究種目 奨励研究 (B) 配分区分 補助金 審査区分/研究分野 歴史 研究期間 (年度) 1974~1974 研究課題ステータス 完了 配分額*注記 120,000 円 (直接経費: 120,000 円) 助成事業 科学研究費助成事業」
<<https://cir.nii.ac.jp/crid/1040282257386341888>>

昭和 56 (1981) 年

- ・勝田勝年 (1904~1988) 著『三浦周行の歴史学』(柏書房、昭和 56 (1981) 年 4 月 25 日刊。A5、310 頁)

- (書評)・石井進 (1931～2001) 「勝田勝年著『三浦周行の歴史学』『史学雑誌』第 90 卷第 10 号 (昭和 56 (1981) 年 10 月刊) 1583～1584 頁
[〈https://www.istage.ist.go.jp/article/shigaku/90/10/90_KJ00003650077/pdf-char/ja〉](https://www.istage.ist.go.jp/article/shigaku/90/10/90_KJ00003650077/pdf-char/ja)
- (書評)・柴田實 (1906～1997) 「勝田勝年著『三浦周行の歴史学』『日本歴史』第 412 号 (昭和 57 (1982) 年 9 月刊、「書評と紹介」)
- ・勝田勝年 (1904～1988) 「三浦周行博士の生涯：五十年忌を前にして〔含 年譜〕」『國學院雑誌』第 82 卷 4 号 (昭和 56 (1981) 年 4 月刊。「三浦周行博士略年譜」：73～103 頁)
[〈https://dl.ndl.go.jp/pid/3365534〉](https://dl.ndl.go.jp/pid/3365534) (国立国会図書館デジタルコレクション。この部分：令和 5 (2023) 年 1 月 3 日追加)
 - ・勝田勝年 (1904～1988) 「修学期の三浦周行博士 青年史家の刻苦精励の記録」『國學院雑誌』第 82 卷 7 号 (昭和 56 (1981) 年 7 月刊) 55～76 頁
[〈https://dl.ndl.go.jp/pid/3365537〉](https://dl.ndl.go.jp/pid/3365537) (国立国会図書館デジタルコレクション。この部分：令和 5 (2023) 年 1 月 3 日追加)
 - ・勝田勝年 (1904～1988) 「修学期の三浦周行博士の日本史研究 ("国史学会の今昔"特集)」『日本歴史』第 400 号 (昭和 56 (1981) 年 9 月刊) 93～112 頁
 - ・小葉田淳 (1905～2001) 「序文」三浦周行『日本史の研究 第一輯』(岩波書店、昭和 56 (1981) 年 4 月刊) ⇒同「三浦周行先生」『史林談叢 史学研究 60 年の回想』(臨川書店、平成 5 (1993) 年 11 月 10 日刊) 146～153 頁として再録。
 - ・林屋辰三郎 (1914～1998) 「解説」三浦周行『日本史の研究 第二輯下』(岩波書店、昭和 56 (1981) 年 12 月 10 日刊) 1339～1343 頁
昭和 57 (1982) 年
 - ・上横手雅敬 (1931～) 「解説」三浦周行『日本史の研究 新輯一』(岩波書店、昭和 57 (1982) 年 1 月 8 日刊) 685～700 頁
 - ・熱田公 (いさお、1931～2002) 「解説—社会史と晩年の史学—」三浦周行『日本史の研究 新輯二』(岩波書店、昭和 57 (1982) 年 2 月 10 日刊) 443～455 頁
 - ・浅尾直弘 (1931～) 「解説—社会史と晩年の史学—」三浦周行『日本史の研究 新輯三』(岩波書店、昭和 57 (1982) 年 3 月 10 日刊) 455～466 頁
 - ・瀧川政次郎 (1897～1992) 「序並びに解説」三浦周行・瀧川政次郎共編『令集解釈義』((覆刻) 国書刊行会、昭和 57 (1982) 年 4 月 30 日刊) 1～45 頁。後掲瀬賀正博氏論説 (『法史学研究会会報』第 23 号、令和 2 年刊) 参照。(令和 4 (2022) 年 9 月 28 日、同 6 (2024) 年 1 月 11 日各一部修正)
[〈https://dl.ndl.go.jp/pid/11933336/1/1〉](https://dl.ndl.go.jp/pid/11933336/1/1)
(参考) (初版) 『定本 令集解釋義』(内外書籍株式会社、昭和 6 (1931) 年 4 月 5 日刊)
[〈https://dl.ndl.go.jp/pid/1051673/1/1〉](https://dl.ndl.go.jp/pid/1051673/1/1)
昭和 59 (1984) 年
 - ・浅尾直弘 (1931～) 「解説」同編、三浦周行『大阪と堺』(岩波書店、(岩波文庫)、昭和

59 (1984) 年 6 月 18 日刊) 241～255 頁 (令和 4 (2022) 年 9 月 28 日追加)

平成 2 (1990) 年

・林屋辰三郎 (1914～1998)・浅尾直弘「解説」同編、三浦周行『新編 歴史と人物』(岩波書店、(岩波文庫)、平成 2 (1990) 年 10 月 16 日刊) 347～355 頁 (令和 4 (2022) 年 9 月 28 日追加)

・浅尾直弘 (1931～)「解説」三浦周行『国史上の社会問題』(岩波書店、(岩波文庫)、平成 2 (1990) 年 12 月 17 日刊) 197～205 頁 (令和 4 (2022) 年 9 月 28 日追加)

平成 4 (1992) 年

・小葉田淳 (1905～2001)「三浦周行」『国史大辞典』第 13 卷 (吉川弘文館、平成 4 (1992) 年 4 月 1 日刊) 263～264 頁 (令和 5 (2023) 年 1 月 3 日追加)

平成 5 (1993) 年

・(重複掲載) 小葉田淳 (1905～2001)「三浦周行先生」『史林談叢 史学研究 60 年の回想』(臨川書店、平成 5 (1993) 年 11 月 10 日刊。初出: 三浦周行『日本史の研究 第一輯』序文 (昭和 56 (1981) 年 4 月刊)) 146～153 頁

平成 9 (1997) 年

・『京都大学百年史 部局史編 1』(京都大学後援会、平成 9 (1997) 年 9 月 30 日刊) (令和 5 (2023) 年 7 月 17 日追加)

<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/152877> 90～92 頁

<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/152980> 309～310 頁

・今谷明 (1942～)「三浦周行 1871～1931」今谷明・大濱徹也 (1937～)・尾形勇 (1938～)・樺山紘一 (1941～) 編『20 世紀の歴史家たち (1) - 日本編 上 -』(【刀水歴史全書 45 (1)】、平成 9 (1997) 年 7 月 22 日刊) 71～82 頁

平成 13 (2001) 年

・荊木美行 (1959～)「いわゆる「三浦・瀧川論争」の一資料—三浦博士の自筆原稿の出現」『皇學館大學研究開発推進センター史料編纂所報』第 176 号 (平成 13 (2001) 年 12 月 10 日刊) 1～4 頁

平成 14 (2002) 年

・藤井讓治 (1947～)「国史学 三浦周行」礪波護 (1937～)・藤井讓治編『京大東洋学の百年』(京都大学学術出版会、平成 14 (2002) 年 5 月 20 日刊) 37～60 頁 (令和 4 (2022) 年 9 月 28 日追加)

平成 24 (2012) 年

・宮部香織 (1973～)「國學院における三浦周行の法制史講義」『國學院大學校史・学術資産研究』第 4 号 (平成 24 (2012) 年 3 月 9 日刊) 121～148 頁

・藤田大誠 (1974～)「皇典講究所・國學院大學における日本法制史の特質」『國學院大學伝統文化リサーチセンター研究紀要』第 4 号 (平成 24 (2012) 年 3 月 31 日刊) 217～243 頁

・山口道弘（1979～）「牧健二の史学史的研究序論—特に委任制封建論及び知行論争理解の深化に向けて—」『千葉大学法学論集』第27巻第2号（平成24（2012）年9月刊）117～142頁

〈https://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/900116579/09127208_27-2_117.pdf〉

・趙晶（1983～、中国政法大学法律古籍整理研究所教授）《近代以来日本中国法制史研究的源流—以东京大学与京都大学为视点》.pdf, 载《比较法研究》2012年第2期

〈<http://flgj.cupl.edu.cn/info/1031/1012.htm>〉

〈http://flgj.cupl.edu.cn/local/F/F7/59/E831923D06A291139513B770CA8_B8A2CAA63DA382.pdf?e=.pdf〉

平成26（2014）年

・小林丈広（1961～）編著『京都における歴史学の誕生—日本史研究の創造者たち—』（MINERVA 日本史ライブラリー㉔、ミネルヴァ書房、平成26（2014）年4月10日刊）（令和5（2023）年5月23日追加）

平成30（2018）年

・前田一郎「徳重浅吉と京都 思想史的素描」『The Social Science (The Social Sciences)』第48巻第2号（平成30（2018）年8月31日刊。徳重浅吉: 1893～1946）27～53頁

平成31/令和元（2019）年

・山口道弘（1979～）「中田薫法制史学の形成と展開」（2019-04-01～2024-03-31）（科研費）

〈<https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-19K01244/>〉

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/2534547/p266.pdf〉

令和2（2020）年

・山口道弘「三上参次と官学アカデミズム史学の成立」『法政研究』第86巻第4号（令和2（2020）年3月13日刊）289～354頁

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/2800501/p354.pdf〉

・入山洋子（1973～）「西田直二郎日記（1）」『京都大学大学文書館研究紀要』第18号（令和2（2020）年3月19日刊）69～113頁（令和5（2023）年5月23日追加）

〈<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/250150>〉

（参考）

『京都大学大学文書館だより』第20号（令和2（2020）年4月30日刊）11頁

「大学文書館の動き 西田直二郎関係資料を公開しました」

〈http://kua1.archives.kyoto-u.ac.jp/ja/wp-content/uploads/2020/05/tavori038_200509.pdf〉

（書評）神保町系オタオタ日記（2021-05-16分）

〈<https://jyunku.hatenablog.com/entry/2021/05/16/200318>〉

・瀬賀正博（1970～）『校訂令集解』から『令集解釈義』まで—瀧川政次郎氏の講演によせて—『法史学研究会会報』第23号（小林宏先生米寿記念号、令和2年3月30日刊）52

～61 頁

(令和 4 (2022) 年 9 月 28 日追加)

・神野潔 (1976～) 「東京時代の三浦周行—法学協会雑誌と新民法と—」『藝林』第 69 巻第 1 号 (令和 2 (2020) 年 4 月 10 日刊) 184～210 頁

令和 3 (2021) 年

・山口道弘「南北朝正閏論争と官学アカデミズム史学の文化史的展開 (1)」『法政研究』第 87 巻第 4 号 (令和 3 (2021) 年 3 月 15 日刊) 502～441 頁

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/4370977/8404_p502.pdf〉

・入山洋子 (1973～) 「西田直二郎日記 (2)」『京都大学大学文書館研究紀要』第 19 号 (令和 3 (2021) 年 3 月 19 日刊) 51～88 頁 (令和 5 (2023) 年 5 月 23 日追加)

〈<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/262923>〉

・山口道弘「南北朝正閏論争と官学アカデミズム史学の文化史的展開 (2・完)」『法政研究』第 88 巻第 1 号 (令和 3 (2021) 年 7 月 27 日刊) 388～325 頁

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/4485658/88_1_p388.pdf〉

・神野潔 (1976～) 「明治期における日本法制史学の展開図」『法制史研究』70 (令和 3 (2021) 年 3 月 30 日刊)

令和 4 (2022) 年

・山口道弘「牧健二と文科派法制史学の展開 (上)」『法政研究』第 88 巻第 4 号 (令和 4 (2022) 年 3 月 14 日刊) (横書) 242～191 頁

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/4772779/8804_pa242.pdf〉

・入山洋子 (1973～) 「西田直二郎日記 (3)」『京都大学大学文書館研究紀要』第 20 号 (令和 4 (2022) 年 3 月 22 日刊) 51～111 頁 (令和 5 (2023) 年 5 月 23 日追加)

〈<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/274011>〉

＊中村直勝博士 (1890～1976) を巡る三浦周行博士との確執関係記載頁

「(入山洋子氏冒頭解説) 2 学内行政のこと 2—1 中村直勝の処遇について」(53～54 頁)

「日記 昭和 3 (1928) 年 12 月 7、12、18 日条」(74～75 頁)

・小澤実 (1973～) / 佐藤雄基 (1981～) 編『史学科の比較史 歴史学の制度化と近代日本』(勉誠出版、令和 4 (2022) 年 5 月 30 日刊) (令和 5 (2023) 年 7 月 17 日追加)

・山口道弘「牧健二と文科派法制史学の展開 (下)」『法政研究』第 89 巻第 1 号 (令和 4 (2022) 年 7 月 29 日刊) (横書) 170～117 頁

〈https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/4796016/8901_p117.pdf〉

令和 5 (2023) 年

・新田一郎 (1960～) 「宮崎道三郎旧蔵書とその周辺—和漢書目録と雑考」『法の思想と歴史』第 3 号 (信山社、令和 5 (2023) 年 4 月 17 日刊) 1～33 頁中 6～9 頁「IV 三浦周行旧蔵書に関する若干のトピック」(令和 5 (2023) 年 7 月 17 日追加)

〈<https://www.shinzansha.co.jp/book/b10031304.html>〉

・北康宏（1968～）『中田薫』（人物叢書、吉川弘文館、令和 5（2023）年 8 月 1 日刊）
38～41、124～125 頁（令和 5（2023）年 7 月 17 日追加）
〈<http://www.yoshikawa-k.co.jp/book/b626819.html>〉

（了）